

事業所名

ゆあすまいる

支援プログラム

作成日

6年4月1日

営業日	月火水木金祝	休日は、土曜日・日曜日。 5月3～5日、8月13日～15日、12月29日～1月3日	
営業時間	9:30～18:30	送迎実施の有無	あり 送迎範囲や時間帯等、要相談となります。
サービス内容	児童発達支援 ・ 放課後等デイサービス	支援時間	9:30～18:30の営業時間(勤務時間)内。 詳しくは、お尋ねください。
法人(事業所)理念	当法人の療育に係る基本的な考えは以下の通りであります。簡潔に示すと、療育は、成功行動の構築・強化、誤学習の消去が主要素と考えます。詳細は以下に申し添えます。 当事業所は、常に、障がいのある児童(以下彼らという)が、短期・中期的には、園・学校等での社会生活或いは家庭生活を行なう上で、また、中長期的には、将来的な進学・進級及び就業生活や親からの自立等が訪れることを前提に、療育を考えています。彼ら或いは身近におられる方の困り感・悩み事等の課題を分析した上で、必要に応じたアプローチを行ない、社会的生存能力を養うための本人支援・家庭支援・地域支援が必要との観点での療育が必要と捉えています。 心の中での寄り添いを大切にし、今現在も幸福感・満足感を得てもらうことが大切と考え、余暇の要素を交えながら支援を提供しつつ、彼らの最善の利益の追求のため、将来の選択の幅を広げることを目的として、【成長】に重きをおいた支援を重要視します。		
支援方針	<p>【本人支援】① 成長を促すために褒めることもあれば叱ることもありますが、楽しく学べる環境設定に努めます。 ② 情緒の安定等を目的に運動余暇的要素の活動を提供しますが、安全面に留意した療育を行ないます。 ③ 社会的生存能力を養えるよう、成功行動の構築・強化、誤学習の消去を狙った療育を行ないます。 ④ 社会参加をするうえで必要となる知識・ルール・マナーを習得するためのお手伝いをします。 ⑤ サービス提供区分は社会生活(家庭を含む)事情に応じて、区分1又区分2又区分3で支援します。 ⑥ 社会生活(家庭を含む)事情等も鑑み、サービス提供区分を超える必要がある場合、延長支援をします。</p> <p>【家庭地域支援】① 保護者さんとして、育児や生活上での悩み事や困り感があるものと捉えて、相談に応じ支援します。 ② 明日・将来に繋がるよう、保護者さんの家事負担軽減・子育ての環境・方法の提案を考慮します。 ③ 必要に応じて、保護者さん・関係者さん(相談員・医師・保育士・教員等)と連携し支援します。 ④ 希望に応じ、協議の上、園や学校等社会生活の場・ご自宅等への迎え・送りを実施します。</p> <p>【注意事項】① 送迎は児童体調・感染症対策・安全な運営等を鑑み、時間等の前後があります。 ② 場所や時間帯によっては、保護者様でのお送りやお迎えをお願いする場合があります。</p>		
児童発達支援療育内容(簡易)	未就学児：就学前準備 就学後の放課後の生活に備えた午後療育が特長。 ・歩く練習・座る練習・待つ練習・止まる練習・書く練習・読む(見る)練習・先生をみる練習・話す練習・静かにする練習・遊ぶ練習・片付ける練習・友達と遊ぶ練習・気持ちの整理練習・行動の切り替え練習・手洗いの練習・うがいの練習		
放課後等デイサービス療育内容(簡易)	就学期：教育の補助・学習指導(宿題に取り組む習慣づけ、宿題や所課題への取り組み方へのアドバイス等)・授業態度指導(話を聞く姿勢や態度の練習)・時間管理指導(時間を意識する習慣づけ)・準備片付け指導(準備や片付けを意識する習慣づけ)・作業訓練(手先指先の訓練、頭の体操)・遊び指導(遊びのルール・加減、友達と仲良く遊ぶ方法や友達との距離感の教示) (例：体操・ストレッチ・カードゲーム(多種)・ボードゲーム(複数)・ジョキング・ランニング・リレー・野球・サッカー・バスケット・ドッジボール・キャッチボール・バドミントン・ティーバットティング・鬼ごっこ・アスレチック遊び・ボール隠しゲーム・電磁調理器等での調理、他長期休暇、祝日等企画等)		
療育内容詳細	余暇・娯楽要素も交えながらの流れやルールに沿った生活の練習。別紙の療育スケジュール・活動プログラム・長期休みプログラム等が参照となります。お尋ねください。		
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善(例：体温測定等での健康状態観察、気分の上下での状態観察、視覚化、視覚的・聴覚的刺激調整、必要と考えられる治療の提案、服薬状況の確認) ②生活のリズムや生活習慣の形成(例：学習時間と自由時間と活動時間とのメリハリ支援、早寝早起きなどの規則正しい生活習慣の推奨提案、家庭学習の習慣づけ提案、メディア依存の軽減緩和提案) ③基本的な生活スキルの獲得(例：身だしなみの意識づけ、準備片付けの習慣づけ支援) ④生活におけるマネジメントスキルの育成(例：単元ごとに必要な反応の意識づけ)	
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上(生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化) ②身体の移動能力の向上(社会的な場面における移動能力の向上のための支援) ③保有する感覚の活用(保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を活用できるよう、遊び等を通して支援) ④感覚の特性への対応(感覚の特性(感覚の過敏さや鈍麻さ)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整・軌道修正等の支援)	
	認知・行動	①認知の特性についての理解と対応 ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成) ③行動障害への予防及び対応・空間・時間等の概念の把握 例)・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成 ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・ブロック等での遊びによる空間把握の認知形成 ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りへの配慮 ・感覚、認知の偏りに対する軌道修正 ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動	
	言語コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力の向上(言葉だけでなく、表情や身振り、機器等を用いて意思疎通できるようにする等、必要な基礎的能力を身に付けることができるよう支援) ②言語の受容と表出(話し言葉や各種の文字・記号等を用い、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりなど、言語を受容し表出することができるよう支援) ③言語の形成と活用(事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるよう支援) ④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測といった共同注意の獲得や場面に応じた行動・対応など人との関わり方についての学び等を含めた能力向上のための支援) ⑤コミュニケーション手段の選択と活用(指差し、身振り、サイン等の活用指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援) ⑥状況に応じたコミュニケーション(円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるように支援) ⑦読み書き能力の向上(障害の特性に応じた読み書き能力のための支援)	
	人間関係社会性	①愛着の形成と安定(基本的な信頼感を持てるよう、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援) ②情緒の安定(自身の感情状態に関心を持ち、その変化の幅の安定に興味を持てるよう援助し、変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活できるよう支援) ③他者との関わり(人間関係)の形成(他者の気持ちや意図を理解し、他者からの動き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるよう支援) ④遊びを通じた社会性の発達(模倣行動支援、感覚的な遊び→見通しやつもり、ごっこ等の象徴遊びへの支援、一人遊び→協同遊びへの支援) ⑤自己の理解と行動の調整(自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通じ、情動を調整し、状況に応じた行動ができるよう支援) ⑥仲間づくりと集団への参加・アタッチメント形成(集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるように支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援)	
家族支援	養育の相談対応、必要時の園や学校との連携	移行支援	療育の卒業を見据えて、療育ではない社会資源の活用提案
地域支援・地域連携	園や学校との連携、協調支援	職員の質の向上	日々の労務や社内内外での研修を通じ、資質の向上に努める